

2018年10月29日

報道資料

パイオニアの「3D-LiDAR センサー」がルネサスの車載情報システム用 SoC「R-Car」に対応
～ルネサスのコンパクトデモカーに前方障害物検知センサーとして搭載～

パイオニアの「3D-LiDAR センサー」が、ルネサス エレクトロニクス株式会社(以下「ルネサス」)が開発を進める、自動運転時代の車載コンピューティング・プラットフォームとして利用可能な車載情報システム用 SoC「R-Car」に対応しました。ルネサスがセンシングソリューション統合デモ用に開発したデモカー「Etoile(エトワール)」に、当社の「3D-LiDAR センサー」が前方障害物検知センサーとして搭載され、自動駐車や自動運転に貢献しています。



【当社製「3D-LiDAR センサー」】

【パイオニア製「3D-LiDAR センサー」が搭載されたルネサスのコンパクトデモカー】

3D-LiDAR センサーは、レーザー光で対象物までの正確な距離を測定し、遠方や周辺の状況をリアルタイムかつ立体的に把握できるため、レベル3以上の自動運転の実現に不可欠なキーデバイスとされています。当社は、2020年以降の量産化を目指し、高性能で小型かつ低コストなMEMSミラー方式の3D-LiDARセンサーの開発を進めており、本年9月下旬より、MEMSミラー方式で計測距離が異なる「3D-LiDAR センサー」3種4モデルを国内外の企業に順次提供開始しています。

当社の自動運転に関する取り組みについて: <http://autonomousdriving.pioneer/ja/>